

一般向け講演会の開催について

下記の通り、東京大学大学院理学系研究科、早野龍五氏による KEK 職員一般向けの講演会を開催いたしますので、是非ご参集ください。

この講演会は、外部資金（特別推進研究「ILC のための最先端測定器の国際的新展開」代表：東北大学山本均氏）による招待講演です。講演概要からもわかる通り、大変興味深い内容を、KEK の全ての職員のみなさまに向けて、分かりやすくお話しいただくことになっていますので、是非ご参加ください。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

記

1. 演題 「測って伝える – BABYSCAN から見える福島の今」
2. 日時 平成 27 年 12 月 10 日（木） 17：40～18：40
3. 場所 KEK 小林ホール
4. 講演者 **早野 龍五 教授**（東京大学 大学院 理学系研究科）
5. 講演概要

CERN で反陽子を用いた研究を行っている私ですが、東日本大震災とそれに続く原発事故に際し、Twitter のフォロワー数が 3000 人→150,000 人に急増したことが契機となって、福島の子民の被ばく状況の調査や現地でのコミュニケーションに深く関わるようになり、その一端は、糸井重里さんとの共著「知ろうとすること。」にも書かせていただきました。講演では、私が作って福島県内に 3 台に設置した幼児用の内部被ばく検査装置 BABYSCAN と、これも私が早い時期から取り組んできた D-shuttle と呼ばれる個人線量計を通じて見えてきた福島の状況についてお話しします。

6. URL: <http://wwwcms1.kek.jp/ja/Conference/20151210133201/>

問い合わせ先：素核研 ILC グループ

